

松本商工会議所会員事業所 宿泊業138社を対象とした

「令和2年10月と前年同月との売上比較アンケート調査」

中小企業振興部

32-5350

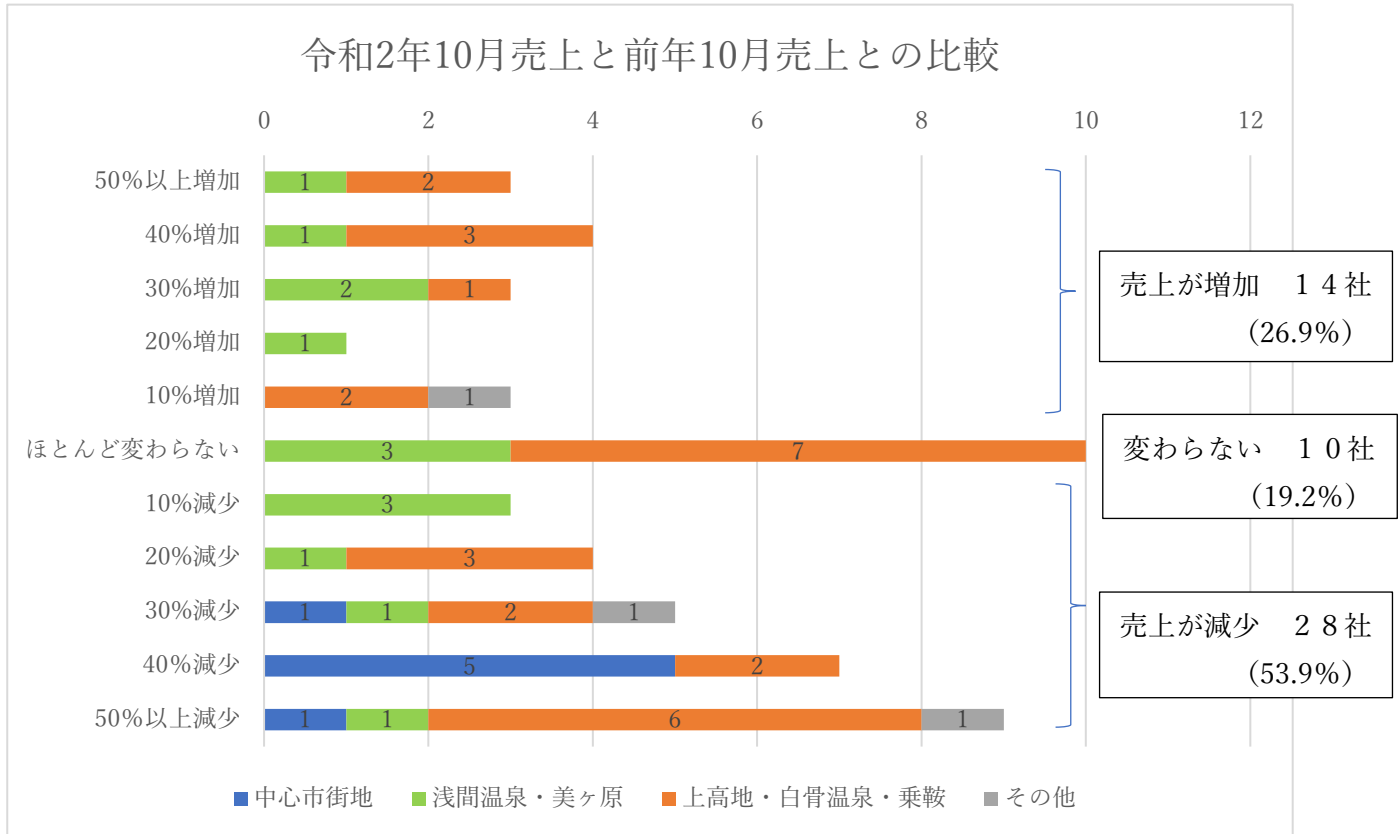
1. 調査期間 10月30日～11月6日

2. 回答企業数 52社(回収率 37.7%)

中心市街地 7社 浅間温泉、美ヶ原温泉 14社  
 上高地、白骨温泉、乗鞍地域 28社 その他 3社

3. 調査結果

■令和2年10月売上と前10月売上との比較



・令和2年10月の売上と前年同月の売上を比較した場合、全体では「売上が増加した」と回答した事業所が14社(26.9%)、「ほとんど変わらない」が10社(19.2%)、「減少した」が28社(53.9%)であった。

・中心市街地では、7社すべての事業者が「売上が減少した」と回答している。

・浅間温泉・美ヶ原温泉では「売上増加」が5社、「減少」が6社とほぼ同じ割合であったが、上高地・白骨温泉・乗鞍では「売上が減少した」が13社と回答した割合が多かった。

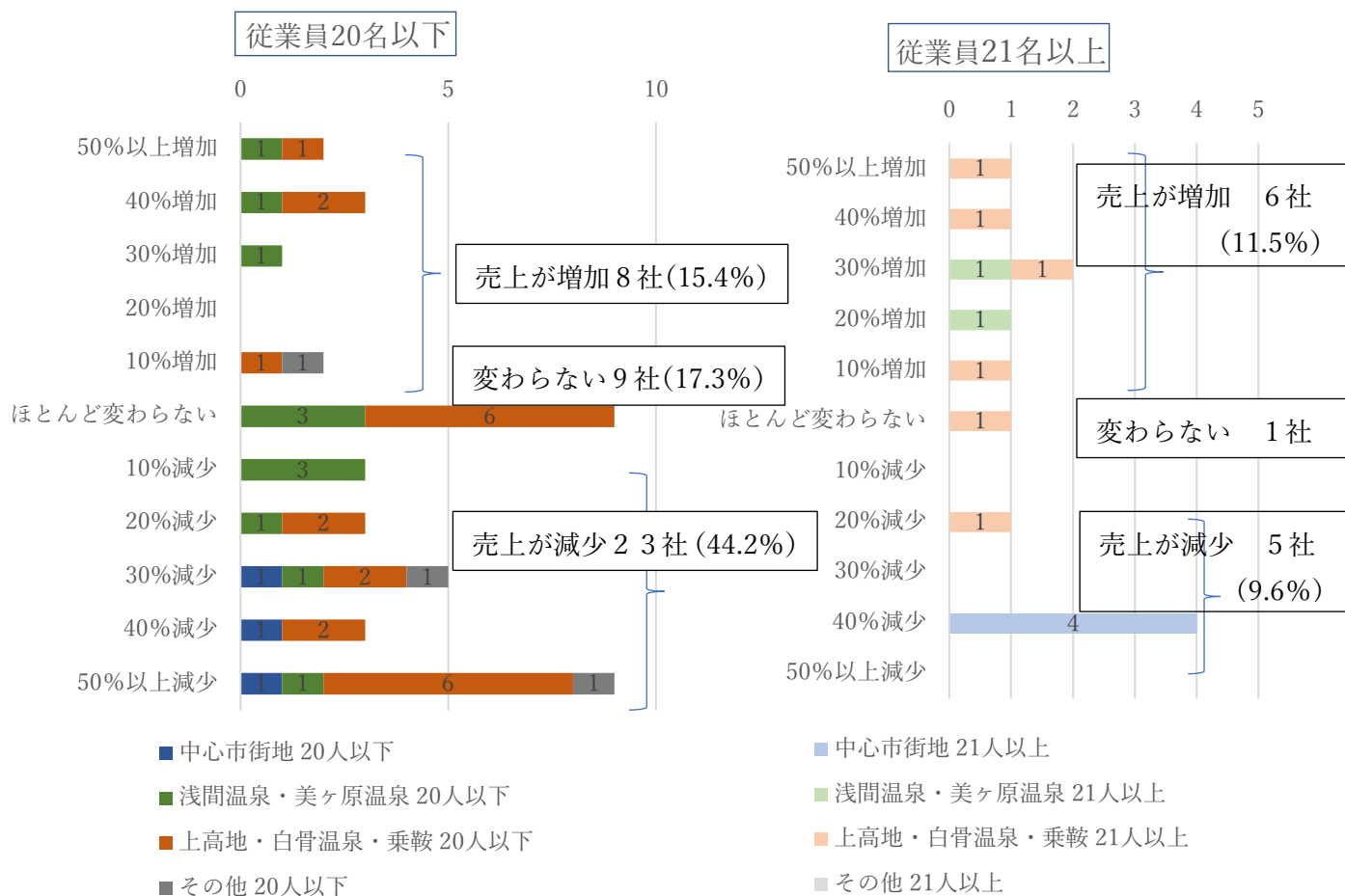
・昨年10月は台風19号の影響で宿泊予約のキャンセル率が50%を超える日があり、経営が厳しい月であったが、今年の10月はそれ以上に厳しい経営環境となっている事業所があるようだ。

(参考) 令和元年10月11日～10月27日迄の金・土・日・祝日の予約に件数に対するキャンセル率について

	10月11日	10月12日	10月13日	10月14日	10月18日	10月19日	10月20日	10月22日	10月25日	10月26日	10月27日
所在地	金曜日	土曜日	日曜日	祝日	金曜日	土曜日	日曜日	祝日	金曜日	土曜日	日曜日
1.松本駅周辺	29.0%	31.9%	35.1%	39.9%	30.2%	22.1%	25.1%	18.7%	20.2%	12.8%	10.8%
2.浅間温泉、美ヶ原温泉	36.3%	62.8%	46.4%	31.8%	20.2%	27.8%	18.3%	27.3%	28.8%	18.4%	29.7%
3.上高地、白骨温泉	63.9%	75.5%	74.1%	52.6%	33.8%	26.7%	21.2%	21.0%	12.4%	12.0%	9.1%
回答事業所のキャンセル率平均	45.4%	57.0%	53.3%	42.8%	28.7%	25.5%	21.5%	22.2%	20.0%	14.4%	16.5%

## ■常時使用する従業員規模による比較

令和2年10月売上と前年10月売上との比較



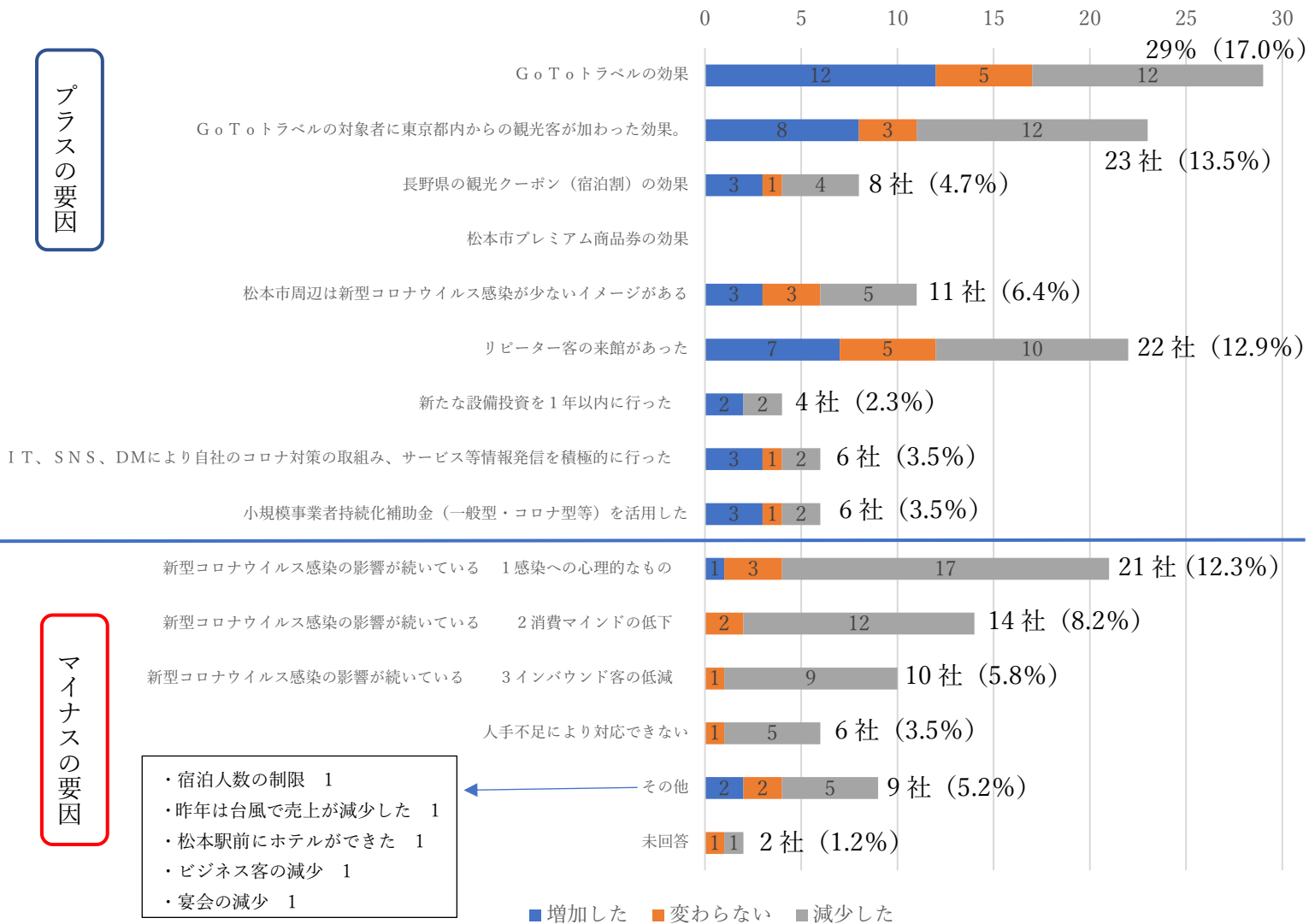
・売上比較を「常時使用する従業員規模」で比較すると

従業員が20人以下の小規模事業者で「売上が減少した」(23社)と回答する割合が多い。

	従業員20人以下	従業員21人以上
売上が増加	8社(15.4%)	6社(11.6%)
変わらない	9社(17.3%)	1社(1.9%)
売上が減少	23社(44.2%)	5社(9.6%)
小計	40社(76.9%)	12社(23.1%)
合計	52社(100.0%)	

■令和2年10月の売上となった要因

令和2年10月の売上となった要因(複数回答)



プラスの要因

マイナスの要因

- ・宿泊人数の制限 1
- ・昨年は台風で売上が減少した 1
- ・松本駅前にホテルができた 1
- ・ビジネス客の減少 1
- ・宴会の減少 1

「売上が増加」「変わらない」「減少した」事業所毎の令和2年10月の売上の要因

売上が増加した	変わらない	売上が減少した
1位:GoToトラベルの効果 12社	1位:GoToトラベルの効果 5社	1位:コロナによる心理的なもの 17社
2位:GoToに東京が加わった 8社	1位:リピーター客の来館 5社	2位:GoToトラベルの効果 12社
3位:リピーター客の来館 7社	3位:GoToに東京が加わった 3社	2位:GoToに東京が加わった 12社
4位:長野県観光クーポン 3社	3位:コロナ感染少ないイメージ 3社	2位:コロナによる消費マインドの低下 12社
4位:コロナ感染少ないイメージ 3社	3位:コロナによる消費マインドの低下 2社	5位:リピーター客の来館 10社
4位:SNS等の情報発信 3社		6位:コロナによるインバウンド客の低減 9社
4位:持続化補助金の活用 3社		

・「売上が増加」「変わらない」「売上が減少」に共通する上位の要因

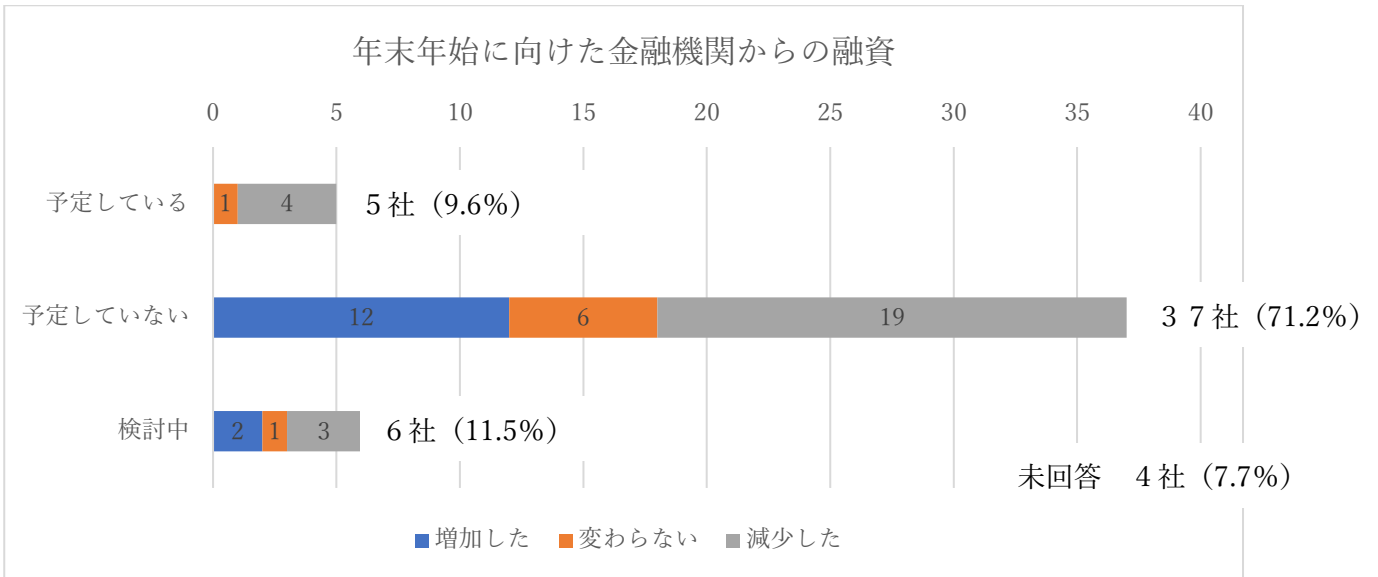
「GoToトラベルの効果」「GoToに東京が加わった」「リピーター客の来館」

・GoToトラベル事業は売上に貢献している。

・リピーター客の来館と回答している多くは、上高地・白骨温泉・乗鞍地域であった。

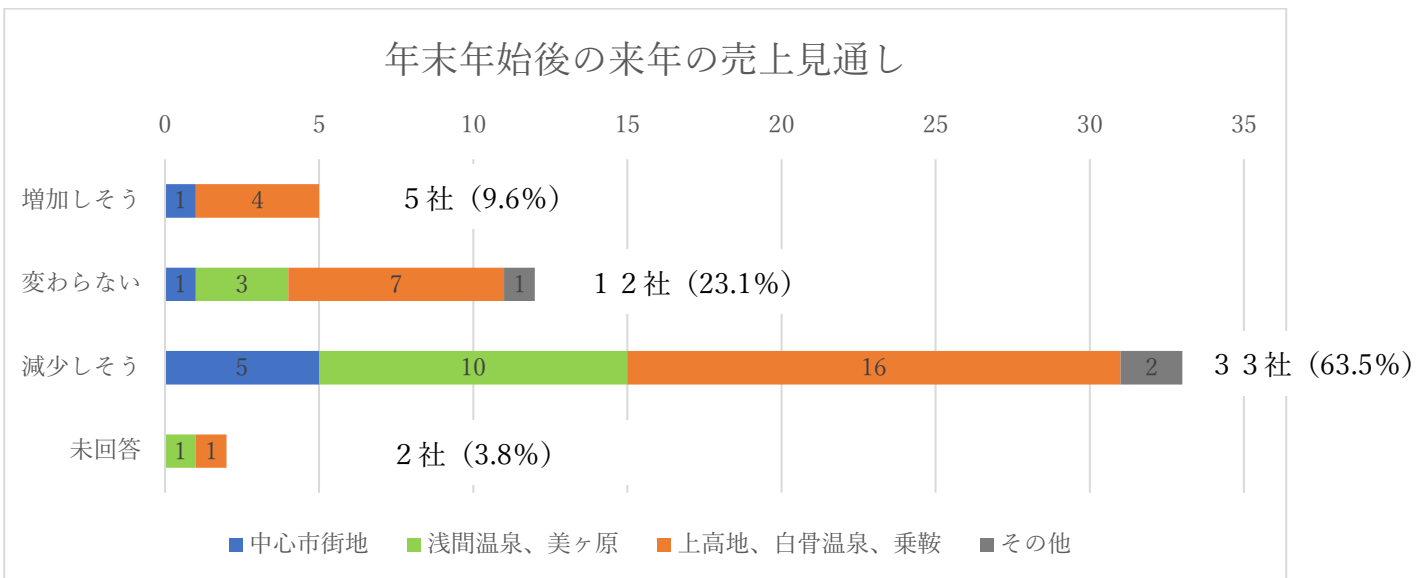
・中心市街地の売上減少の要因として、「ビジネス客、インバウンド客の減少」、「宴会の減少」が挙げられる。

■ 年末年始に向けた金融機関からの融資



・「売上が変わらない」「減少した」と回答した内の5社が融資を予定している。

■ 年末年始後の来年の売上見通し



	理由
売上が増加しそう 5社(9.6%)	・コロナ感染症への対応が向上し、旅行者が増加する。
変わらない 12社(23.1%)	・インバウンド客が戻らない ・常連客が主なため ・宿泊直前の予約が多い
売上が減少しそう 33社(63.5%)	・GoToトラベルが終了してしまう ・コロナ感染症の影響が続く ・コロナ感染症対策として宿泊人数を制限している ・団体旅行の減少が続く ・低価格宿泊施設では GoTo の恩恵が少ない
未回答 2社(3.8%)	

## 松本商工会議所会員事業所 宿泊業事業所52社から回答を得た

### 「令和2年10月と前年同月との売上比較アンケート調査」(10月30日～11月6日)まとめ

1. 令和2年10月の売上と前年同月の売上を比較した場合(P1)
  - 1)「売上が増加した」と回答した事業所が 14社 (26.9%)
  - 2)「ほとんど変わらない」が 10社 (19.2%)
  - 3)「減少した」が 28社 (53.9%) (内、50%以上売上が減少と回答している事業所が9社)  
となり、半数以上が「売上が減少した」と回答している。
2. 昨年10月は台風19号の影響で宿泊予約のキャンセル率が50%を超える日があり、経営が厳しい月であったが、今年の10月はそれ以上に厳しい経営環境となっている宿泊業もあるようだ。(P1～2)
3. 常時使用する従業員が20人以下の小規模事業者で「売上が減少した」(23社)と回答する割合が多い。(P2)
4. 今年10月の売上となった要因(P3)
  - 1)新型コロナウイルス感染症の影響は続くものの、「GoTo トラベルの効果」「リピーター客の来館」を売上の要因として挙げている事業所が多い。  
【プラス要因(複数回答)】
 

①「GoToトラベルの効果」 29社	②「GoTo に東京が加わった」 23社
③「リピーター客の来館」 22社	

 ・GoToトラベル事業は売上に貢献している。  
【マイナス要因(複数回答)】
 

①コロナによる心理的なもの 21社	②コロナによる消費マインドの低下 14社
③コロナによるインバウンド客の低減 10社	
5. 年末年始に向けた融資予定(P4)
  - 1)「融資を予定していない」事業所が37社(71.2%)と多い。(「融資を予定している」事業所は5社(9.6%))
6. 年末年始後の売り上げ見通し(P4)

	売上見通しの理由
売上が増加しそう 5社	・コロナ感染症への対応が向上し、旅行者が増加する。
変わらない 12社	・インバウンド客が戻らない ・常連客が主なため ・宿泊直前の予約が多い
売上が減少しそう 33社	・GoToトラベルが終了してしまう ・コロナ感染症の影響が続く ・コロナ感染症対策として宿泊人数を制限している ・団体旅行の減少が続く ・低価格宿泊施設では GoTo の恩恵が少ない
未回答 2社	